

事業所名	ハーティーワン				支援プログラム	作成日	令和6年	12月	6日	
法人（事業所）理念	一人ひとりの個性を大切に、その個性を伸ばしていく 小さな「できる」を積み重ね、大きな自信へと導くとともに、自分を信じる力、自分の手で未来を掴みに行くための力を育むための支援を行う									
支援方針	異学年の友だちとのかかわりを通して、互恵性や社会性を育む									
営業時間	10時	00分	19時	00分	送迎実施の有無	あり	なし			
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	食事・整容・排泄・着脱・整理整頓（準備・片付け）に関するプログラムの実施								
	運動・感覚	粗大運動 姿勢・移動・体づくり・バランスボールなどを用いた体幹を意識したプログラムの実施 微細運動 つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・はめる・とおす・はる・ぬる・はる・こする・描く・切るなどに関するプログラムの実施 その他 体ほぐし運動・多様な動きを作る運動・走の運動・跳の運動に関するプログラムの実施								
	認知・行動	身体部位・色・比較・位置・分類・感情概念・時間概念・数概念・量概念・四則演算・図形に関するプログラムの実施								
	言語 コミュニケーション	挨拶の定着・文字を読む・文字を書く・文章で表現する・事実の読み取り・行動及び感情のコントロールに関するプログラム								
	人間関係 社会性	集団スキル・園生活・学校生活・地域生活・社会的スキルに関するプログラム								
家族支援	支援に関して ①【アセスメント・モニタリング】児童の発達特性に関する状況・相談・助言など ②【計画立案】目標設定に関する意図・相談・助言、プログラム内容に関する意図・相談・助言など ③【実行】補助・手法に関する相談・助言など					面談時の観点 →	①児童の発達に関する相談・助言など ②支援内容に関する相談・助言など ③家庭生活に関する相談・助言など ④集団生活に関する相談・助言など ⑤きょうだいにに関する相談・助言など ⑥制度に関する相談・助言など 家族のニーズに応じ①～⑥などの相談援助を事業所での面談にて実施			
移行支援	事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように、般化を目指した支援を行う (1) 支援をした場面、シチュエーションとは異なる場面でも適切な行動ができる (2) 異なる指示でも適切な行動をとることができる (3) 強化子がなくても適切な行動をとることができる など									
地域支援・地域連携										
職員の質の向上	▽施設管理者及び児童発達支援管理責任者に向けた研修として ① リーダーの役割の確認 『チームを介して成果につなげる』⇒（人を早く育て、動かす・適切に判断し、成果を生む・効果的にコミュニケーションする） ②【教示型】【説得型】【参加型】【委任型】の4つのリーダーシップ（SL理論）を使い分ける ③ モチベーションに応じて、コミュニケーションのアプローチを変える 【コーチング】【カウンセリング】の理解とロールプレイング など ▽育成者に向けた研修として ① 職務責任を理解する ② コミュニケーションの基本について学ぶ ③ 効果的なフィードバックについて学ぶ ④ 基本的な知識と実践を身に着ける ⑤他者との交流 など ▽新卒・中途入社研修 ① ビジネスマナー・コミュニケーション研修 ② 制度に関する研修 ③ 療育に関する研修 ④ ハラスメント防止研修 など ▽全社員向け研修として ① 療育に関する研修 ② ハラスメント防止研修 ③ 虐待防止（身体拘束）に関する研修 ④ 事故防止に関する研修 ⑤ 感染症に関する研修 ⑥ 災害に関する研修 など									
主な行事など (昨年度実施)	・SSTイベント（駄菓子屋さんごっこ、〇〇まつり、電車・バス乗車体験 など） ・季節にかかわるイベント（初詣、凧あげ、豆まき、お花見、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー など） ・実験、工作、調理実習にかかわるイベント（スライム作り、編みぐるみ製作、たこ焼き、焼きそば、ホットケーキ、クレープ、うどん打ち、ナンづくり、ピザづくり など） ・運動や体力づくりにかわるイベント（川遊び、溪流遊び、プール水泳、ハイキング、アスレチック、郊外の大型公園へのお出掛け など） ・社会科見学（博物館、美術館、動物園、水族館 など）工場見学（飲料品メーカー、即席麺メーカー、お菓子メーカー、食品メーカー など）									